

朝日山だより



～平成28年1月吉日 朝日山学園 成人式より～

社会福祉法人 あさひ会

生活介護事業所 朝日山学園・グループホーム ひまわり・こすもす

ヒューマンサポート タッチ・佐賀県発達障がい者支援センター結

〒841-0073

佐賀県鳥栖市江島町字西谷3300-1

TEL (0942) 84-3266

FAX (0942) 84-3286

E-Mail : asahiyaama@grace.ocn.ne.jp

『新年の挨拶』

朝日山学園 施設長 高取 正憲

『皆様、明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します』と、新年を向かえるつもりでおりましたが、あさひ会の新年は慌ただしく始まりました。とても悲しい年始となってしまいました。長く利用者の母親の様な存在で慕われていたボランティアさんが1月2日に亡くなりました。余りに急で、驚きを隠せません。利用者の良き理解者と言うだけでなく、私にとっても良き相談相手でもあり、毎日一緒に昼食をとるランチ仲間でもありました。心に大きな穴が開いてしまったようで中々埋めることが出来ません。

息子さんは重度の知的障がいに伴う自閉症の方で朝日山学園とグループホームこすもすを利用されています。冬期休暇中であつたにも拘らず、元旦の夜中から動きの調整をし、急遽グループホームの宿直、日中支援に入って頂けたスタッフには感謝の気持ちでいっぱいです。

これからまさに親亡き後の生活を考えていかなければなりません。保護者の高齢化に伴い、重い障がいを有された方たちの地域生活をどう支えていくのか？現在、計画中のグループホーム実現に向け、気持ちを新たに進んで行きたいと思います。

また、そこにはグループホームを支える支援者の育成も重要だと考えます。福祉の父として尊敬されている糸賀先生の言葉をお借りするなら「福祉は人なり」です。法人の基本理念「重い障がいがあっても、当たり前の生き方ができるように・重い障がいがあっても、人として尊重されて生きていけるように・重い障がいがあっても、自分で考え判断して生きていけるように・地域の方々との関わりを持ちながら、生きていけるように」をスタッフ一人ひとりが念頭に置き、利用者の思い、保護者の思い、自分自身の思いを大切に、重い障がいを有された方々の支援して

いく仲間として、共に高めあって行きたいと思います。

そして最後に今までボランティアとして公私を支えていただいた古川鈴子さんへ、謹んで感謝の意を表したいと思います。本当に今まで有難うございました。これからも私たちを見守っていて下さい。

☆音楽活動について・・・

『今年度の取り組み』

朝日山学園 生活支援員 古川 聖子

約1～2か月に1回のペースで音楽講師の時田先生、原先生のご協力のもと、音楽活動を実施しています。以前は「楽しむこと」に重きを置き、色々な取り組みをしていましたが、昨年度より「目標を持って取り組む」こと



を主たる目的として実施してきました。今年度の目標は「クリスマス会で演奏すること」です。楽曲は「上を向いて歩こう」。パートごとに役割をもってもらい、「いつ・どのように・いつまで楽器を演奏するのか」を利用者の方それぞれの特性に合わせながら伝えています。声かけで伝わる方、視覚的に伝えて理解につなげる方も、演奏する内容によっては難しさを感じている方もあり、先生と相談し、その方が演奏しやすいように工夫しました。回数を重ねるごとにタイミングも合い曲がまとまり、できた時はみんなで拍手をして達成感を得ることもできました。

また、障がいの特性上、音の刺激に調子が左右されたり、集団での取り組みに調子を左右されることに配慮し、音楽活動の参加を意図的に控えてもらっていた方もおられました。しかし、今年度の目標は『クリス

マス会での発表』です。その為、今年度より、今まで参加されていなかった利用者の方も音楽と関われる機会を作り、個別で鈴やトライアングルなど音楽に合わせて練習をしました。1人ひとり反応も違いますし、利用者の方々の新たな発見もありました。

今回、取り組んでみて気付いたことも多く、新たなチャレンジや達成感にもつながりました。今後も音楽活動を通して、利用者の方の可能性を信じ、引き出すことが出来たらと思っています。

☆料理教室について・・・

『今年の料理教室は・・・』

朝日山学園 生活支援員 矢羽多 勇氣

料理教室は法人の理念に基づいた、障がいを持った方でも自立した生活が送れるようにと言う観点から朝日山学園では鳥栖市の公共施設を利用し、個別に調理をしたり、グループに別れて、おかず・小鉢・デザート等を調理する活動をしてきました。

しかし、今年度の料理教室は効率や利便性も考慮した結果、朝日山学園で行うことにしました。実施するにあたり、少人数または個別での実施に変更しました。これまで、公共施設での活動でしたので、一部の利用者の方には、戸惑われたりなかなか変更を受け入れられなかった方もいました。

実施しながら見えてきたことは、以前は、スタッフも慌ただしく、時間に追われ利用者個々に合ったやり方やシステムを構築できず、改善してより良い料理教室へとつなげる機会を設けることが出来ていませんでした。しかし、今年度は少人数で取り組み、個々の様子を深く観察することができ、調理までの準備や改善の時間に以前よりゆとりができ、利

用者もスタッフも一緒に調理する楽しさや、新しい発見等を共有することができたと思います。

これからは原点に立ち返り『自立へ向けた料理教室』を目標に、個々に合った内容や目標設定を検討しながら取り組ん

でいきたいと思います。また、朝日山学園での実施にとどまらず、家庭での調理や役割としてのお手伝いなどに繋げられるような料理教室になればと思っています。

最後にはなりますが、料理教室として少しでも自立へと繋げていけるようにする為には、ボランティアの方の力が必要となってきます。利用者の方も料理教室を楽しみにされています。スタッフも利用者の方を通していろんな方との関わりの中から学ばせて頂き、今後のより良い支援へと繋げて行ければと思っています。一緒に料理を作って楽しみの場を共有して頂ける方は、ご連絡をお願い致します。



☆行事報告・クリスマス会（12月）

『朝日山学園クリスマス会』

グループホームこすもす 世話人 江藤 敬一

去る平成27年12月25日のクリスマス日に朝日山学園でクリスマス会が開催されました。

会場には、日中活動の中で利用者の方々が折り紙で作られた飾りや、クリスマスリース、段ボールに画用紙を貼ったお手製のクリスマスツリーも飾りました

開催時間が近づくにつれ、会場は来賓の方々をはじめ利用者の皆さん

や保護者の方々に賑わっていき
ます。皆さん揃われたところで、
さあ、クリスマス会のスタート
です。

先ずは理事長の挨拶がありそ
の後、利用者代表の乾杯の掛け
声に合わせて皆さん乾杯です。



クリスマスケーキやお菓子を食べ、ジュースを飲みながらしばしの会食。
会場にはクリスマスにちなんだ音楽も流れています。その時会場には小
気味良い祭りの音楽が流れ始め、ステージの袖よりひょっとこのお面を
被った人たちが登場しました。今年はみやき町より「皆さんに笑顔を届
けたい」と『みやきひょっとこ隊』の皆様が会場に駆けつけてしてくれまし
た。音楽に合わせて会場を練り歩くと、会場からの手拍子や、笑い声で更
に楽しい雰囲気へと変わり沢山の幸せを頂きました。たくさん笑った後
は、ビンゴゲームです。今回は朝日山学園のオリジナルビンゴとし、1
から25の数字を使った、回答式のビンゴゲームを行いました。マイク
を持って司会者が会場を動き回り、参加者に1～25の数字にちなんだ
質問を行います。「歳はいくつですか？」「足のサイズは何センチですか？」
「好きな数字は何ですか？」等々、会場の皆様に応えて頂くことで答え
が必然的に1～25になる様にしました。沢山のユニークな回答に会場
も盛り上がる中、数字が揃いビンゴになって景品をもらえた方や残念な
がらビンゴにならなかった方もおられました。

利用者の音楽発表の時間もありました。今年度音楽活動で取り組んで
きた「上を向いて歩こう」「キラキラ星」の楽器演奏をそれぞれのグルー
プ、楽器に分かれて演奏しました。昨年は演奏に参加出来なかった方も、
今年はステージに出て発表ができ、会場からも暖かい拍手を頂きました。

プログラムも進みいよいよ利用者の皆さんの最大の楽しみプレゼントです。今年はプロレスリング華☆激からアステカさんとKINGさんにサンタクロースの役をしていただきました。利用者の皆さん一人ひとりに手渡され、その場でプレゼントを確認される方や大事そうに持っておられる方、皆笑顔でいっぱいです。

今年も皆様からのご協力により無事にクリスマス会を開催する事ができ、感謝申し上げます。来年度以降も皆さまが笑顔になれるようなクリスマス会を企画していけたらと思います。

☆ボランティア募集しています

朝日山学園では、日中活動のお手伝いをして頂ける方を募集しています。活動内容は、利用者の方との散歩や作業のお手伝いです。

連絡をお待ちしています。(TEL 0942-84-3266 係 橋口まで)

◎新しい職員を紹介



ながはら ちあき
永原 千愛 さん

平成27年9月より、朝日山学園の生活支援員として働いています。

利用者の皆さんに寄り添い、思いを理解していける様に頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

◎寄付者ご芳名

H27. 8～H28. 1

寄附、物品寄贈

愛甲 強 様	青田 陽子 様	天本 清香 様	天本 剛 様
内田 孝喜 様	大坪 稔 様	於保 定夫 様	於保 美代子 様
上尾 央子 様	久保 官枝 様	桑原 和子 様	齋藤 友幸 様
斉藤 房子 様	鈴木 洋二 様	高島 光治 様	田中 洋子 様
田本 啓子 様	友永 ミチ代 様	林 良子 様	原口 敏子 様
廣瀬 耕三郎 様	福島 一雄 様	古川 和博 様	松尾 初子 様
松村 純代 様	三木 洋子 様	毛利 トシ子 様	山本 立夫 様

浅井簡易郵便局 様

医療法人野田内科 様

医療法人野田内科設置の募金箱に募金頂いた皆様

株式会社伸晃建設代表取締役 合原 文夫 様

西清寺 様

第十五回佐賀カントリー倶楽部チャリティゴルフ大会有志一同 様

～クリスマス会～

寄附、物品寄贈

岡 勝昭 様	岡村 國助 様	木下 真治 様	桑原 美智子 様
権藤 ツヤ子 様	眞田 武彦 様	鈴木 洋二 様	豊増 スミ子 様
野田 皓一 様	西久保 正子 様	執行 俊邦 様	橋本 イツヨ 様
林 良子 様	原口 敏子 様	廣重 新興 様	古澤 敏 様

古澤 文雄 様

佐賀県共同募金会 様（NHK歳末たすけあい義援金）

あとりえ・まつもと松本 知子 様

原武登記測量事務所 様

医療法人野田内科理事長 野田 芳隆 様

司法書士法人 州都綜合法務事務所 原 弘安 様

鳥栖プロパン株式会社代表取締役 野田 哲郎 様

▣編集後記

今年は私たちにとって、とても悲しく残念な形で新年がスタートしました。1月2日にボランティアでもあり、利用者の方のお母様でもある古川鈴子さんが亡くなりました。私たちにとっては良き相談者として、また、利用者の方々にとっては母親のような存在として、長く、朝日山学園をサポートして下さいました。突然の訃報にただただ驚くばかりでした。

思えば最後にお会いしたのはクリスマス会の日でした。あの時にもっとたくさん話しておけば良かった。もっと、もっと・・・と、沢山心残りがあります。一緒に行事に参加して下さい助けて頂いたこと、利用者の方の気持ちを代弁して下さいしたこと、時にスタッフの相談にアドバイスをいただいたこと等々、今までの思い出や感謝は数えきれません。今私たちに出来ることは、古川鈴子さんの想いと一緒に『障がいを持たれた方の生活』を、法人の理念を基に支援させていただくことではないかと思えます。

最後になりますが、あさひ会の利用者、職員を代表してこの場でお礼を申し上げたいと思います。長い間本当にありがとうございました。

(菅)